

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ブライダル概論 Introduction to Bridal Business		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(ホテル・ブライダルユニット)	2年生対象
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ホテル業概論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
観光ビジネス実務総論				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
中岡春人				授業中に指示します
授業の概要				
<p>婚礼は、誰にとっても人生最大の祝いの儀式である。その歴史や時代変遷を体系的に学び、婚礼だけにとどまらない大変にすそ野の広いブライダル産業全体の構造と業務内容まで学ぶことで、ブライダル関連産業全体に対する理解をより深める。</p>				
授業の目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダル産業全体の基本理解を深めることで、婚礼や儀式、行事に関し自分の考え方を構築する事が出来るようになる。 ・ブライダルの歴史を日本及び欧米を対比させ学ぶことで、よりGlobalな見方・考え方を習得する事が出来るようになる。 ・結婚式、披露宴の具体的な形態を学ぶことで、ブライダルの将来の姿を描ける創造力を習得する事が出来るようになる。 ・婚礼プランを創作することにより、業務の組み立て方や企画の考え方やその進め方を習得する事が出来るようになる。 				
授業の方法				
<p>授業は教科書がベースとなるが、オリジナルのパワーポイントを使用して、毎回テーマを明確にしながら講師の経験談を交えながら授業進行をしていく。</p> <p>尚、テーマによっては演習を取り入れた授業になる。</p> <p>後半にはTeamに分かれて情報収集、資料収集を行い、婚礼Planを創作することで、さらに業界への理解を深める。</p>				
学習の成果（学習成果）				
<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダルの歴史を学ぶことで、将来的なブライダルのあり方を描ける創造力を身につける事が出来る。 ・ブライダル産業全体の特徴、特性等の基本理解を深めることで実務を構築できる能力を身につける事が出来る。 ・ブライダルの仕事の流れを学び、ブライダル産業の組織とその業務内容を理解し、職業選択の判断力を身につける事が出来る。 ・ブライダルのプランを作成することで、一般的な仕事の進め方、プロジェクトのまとめ方を身につける事が出来る。 				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	授業内容概論説明及び受講Rule等の説明 ・ 受講にあたっての知識確認アンケートの実施			
第2回目	ブライダルの定義 ・ お見合いと婚約・挙式と披露宴			
第3回目	日本におけるブライダルの歴史 ・ ブライダル関連の日本の慣習としきたり			
第4回目	欧米におけるブライダルの歴史 ・ ブライダル関連の欧米の慣習としきたり ・ 宗教から見た婚礼			
第5回目	ブライダル産業の商品特性 ・ ブライダル市場の動向			
第6回目	ブライダル（宴会）部門の組織と役割 ・ ホテル組織の中のブライダル			

第7回目	挙式のStyle ・ 披露宴のStyle	
第8回目	披露宴のTable SettingとSaver実習	
第9回目	プロトコールの基本 国際儀礼としてのProtocolとDress Codeと婚礼衣装	
第10回目	ブライダル実務① ブライダル業務の一般的な流れとブライダル関連帳票	
第11回目	ブライダル実務② 挙式当日の業務の流れとブライダル付帯業務（衣装・装花・写真・着付・美粧・印刷物・引物etc）	
第12回目	婚礼Planの作成① 婚礼Planの作成に関する説明	
第13回目	婚礼Planの作成② Group Work1 資料分析とPlan骨子作成	
第14回目	婚礼Planの作成③ Group Work2 Plan P/P作成	
第15回目	婚礼Planの作成④ Plan発表	
事前・事後学習	事前：授業Scheduleに合わせて、教科書の当該部分を一読してから授業に臨む事 事後：授業での不明点は、次回授業までに調べ理解しておく事	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業に集中し、ノートをとる。不明なことがあれば積極的に質問する。自分の意見を述べるなどが評価の対象。S評価の基準：上記参加態度を全て満たすもの。
レポート		
調査報告書		
小テスト	30%	授業内で行う授業内容の理解度を計る小テストを実施予定。
試験		
発表内容（態度含む）	50%	婚礼Planの作成と発表。 S評価の基準：学習成果の発展としてPlanが構築されているか、またPlan内容の独創性で評価。
その他		
教科書と参考図書		
ブライダルビジネス入門（JTB総合研究所）		
履修上の留意点・ルール		
<p>●実務経験（職種：ホテル運営・ホテル経営・ホテル計画等、職歴：通算39年） Bridal Staffとしての規律を求める（時間厳守・約束遵守・Rule厳守etc） 授業中は私語、携帯、スマホ、飲食、遅刻厳禁。 婚礼Plan作成は全員参加必須とする。 詳細は授業で説明する。</p>		